

2. 事業報告

I 公益目的事業

公益1 人と動物が共生する健全な社会の形成を図る事業

狂犬病等の人と動物の共通感染症の発生を予防し、動物の愛護・適正管理の普及・啓発を通じ、公衆衛生の向上や人と動物が安心して暮らせる健全な社会の発展を目指すことを目的に事業を実施した。

1) 狂犬病予防及びその知識の普及・啓発に関する事業

・ 集合注射の実施頭数

区分	集合注射実施日程	延日数	会場数	注射実施頭数
門司区	4月2日～4月9日	6日間	29会場	527頭
小倉北区	4月16日～4月23日	6	24	705
小倉南区	4月2日～4月15日	10	40	1,182
若松区	4月10日～4月17日	6	27	526
八幡東区	4月19日～4月24日	4	20	324
八幡西区	4月2日～4月16日	10.5	45	1,394
戸畑区	4月16日～4月18日	2.5	13	255
合計		45	198	4,913

・ 個々注射の実施頭数

(単位:頭)

	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	合計
4月	613	1,513	2,052	725	449	2,267	317	7,936
5月	314	784	1,193	344	298	1,165	179	4,277
6月	115	339	456	124	143	495	79	1,751
7月	74	169	207	70	95	256	25	896
8月	39	110	116	32	70	125	29	521
9月	31	93	88	31	74	113	22	452
10月	63	124	117	45	117	143	28	637
11月	35	89	96	27	58	110	17	432
12月	34	59	84	18	72	86	16	369
1月	12	30	55	14	47	59	3	220
2月	5	9	28	2	4	33	3	84
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,335	3,319	4,492	1,432	1,427	4,852	718	17,575

2) 人と動物の共通感染症予防及びそれらの知識の普及・啓発に関する事業

会員獣医師を通じて、学校及び一般市民へ人獣共通感染症の予防及び正しい知識の普及啓発を行った。

3) 動物愛護・保護普及啓発事業

毎年、動物愛護週間に合わせ関係機関と協力し動物愛護の啓発活動を行っている。

主 催 北九州市獣医師会、北九州市、

後 援 北九州市教育委員会

実施内容

①動物の無料なんでも相談(健康相談等)

実施期間 9月20日(金)～9月26日(木) 休診日を除く午前中

場 所 獣医師会会員の動物病院等

内容別相談件数

相談分類	件数
I 病気について	件
1 内科－寄生虫・伝染病・その他	233
2 外科－整形・手術・その他	84
3 産科－出産・その他	30
4 皮膚科	118
5 その他	123
II 公衆衛生関係	
1 不要ペットについて	3
2 死亡したペットについて	13
3 飼育上のトラブルや苦情について	24
4 動物の輸送方法について	5
5 その他	17
III 野生動物関係	
1 野生動物の取扱について	15
2 野生動物の飼育について	13
3 その他	12
合 計	690

動物別相談件数

種類	件数	種類	件数
犬	345	フェレット	1
猫	238	ハリネズミ	1
ウサギ	6	ヤギ	1
ハムスター	4	文鳥	1
イノシシ	3	サル	1
インコ	2	コジュケイ	1
メジロ	2	タヌキ	1
マムシ	2	ヘビ	1
合 計		610 件	

相談者のペット飼育の有無

有	無	合 計
521	42	563

②動物愛護デー事業

開催日 9月23日(月・祝)

場所 到津の森公園「子どもホール」

行事内容

ア) 表彰

○長寿犬表彰

登録されている犬のうち、狂犬病予防注射実績がよく、飼養管理が行き届いた
高齢犬を長寿犬として表彰した。

表彰者	愛称	種類	性別	年齢
北九州市保健福祉局長 北九州市獣医師会長賞	チェリー	ミニチュアダックス	メス	19

○長寿犬・長寿猫表彰(北九州市獣医師会による表彰)

平成25年度より各病院から推薦された犬1頭・猫1頭を、本会独自の長寿
犬・長寿猫とし表彰を行っており、犬21頭、猫21頭を表彰した。

○長寿動物表彰

到津の森公園で飼育され、長寿動物として推薦された次の動物を表彰した。

表彰者	愛称	種類	性別	年齢
北九州市獣医師会長賞	チャチャ	アライグマ	メス	15

○作品表彰

動物愛護図画(小学生)

(応募総数 299)

表彰区分	表彰者	表彰者数
特選	北九州市長賞	1名
優秀	北九州市長賞	6
入選	北九州市教育委員会賞	12
入選	北九州市保健福祉局長賞	3
入選	北九州市獣医師会長賞	12
参加賞		265

表彰者	表彰者数
日本獣医師会会長賞	2名

イ) 催し物

○ 子どもホール1F

- 9:30～12:00 動物無料なんでも相談
9:30～12:00 捨て猫・捨て犬防止キャンペーン当日抽選会受付
10:20～11:35 式典
10:10～10:20 イベントのアピール
10:20～10:40 主催挨拶
10:40～11:25 各種表彰式
11:35～12:25 マジックバルーンショー
12:25～12:35 捨て猫・捨て犬防止キャンペーン当日抽選

○ 子どもホール2F

10:00～12:30 アニマルメイク

○ 子どもホール横広場

※天候不良のためイベント中止
どうぶつのお医者さん体験コーナー
警察犬撮影会

○ 作品の展示(図画)

- ・場 所 …… 子どもホール2階
- ・期 間 …… 9月20日から9月26日

4) 学校飼育動物支援事業

・ 学校飼育動物支援協議会

開催年月日	出席者・人数(名)	会議の内容
31.4.22	教育委員会 1 獣医師会 3	・令和元年度 学校・園飼育動物に関する調査票の件
1.6.10	教育委員会 1 動物愛護センター 1 到津の森公園 3 獣医師会 3	1)平成30年度事業実施状況及び協議会活動状況について 2)今年度の活動計画について ・アンケート調査結果について ・ふれあい授業等予定 ・北九州市学校・園動物飼育シンポジウム・情報交換会 ・モルモット譲渡式 3)その他
1.7.12	教育委員会 2 動物愛護センター 1 獣医師会 4	1)北九州市学校・園動物飼育シンポジウムについて ・事前準備について ・当日の役割分担について 2)その他
2.3.9	教育委員会 2 動物愛護センター 1 獣医師会 3	1)今年度の活動状況 2)来年度の活動計画について ・シンポジウム ・モルモット情報交換会 ・モルモット譲渡会 3)情報 ・学校飼育動物に関する動物愛護管理行政ネットワーク ・新聞記事(小学校の飼育小屋、飼い犬にコロナ感染)

・ 学校飼育動物支援協議会活動状況

開催年月日	出席者・人数(名)	会議の内容	会場
1.7.29	学校教員 47 教育委員会 2 愛護センター 1 到津の森公園 2 獣医師会 6	(北九州市学校・園動物飼育シンポジウム及び情報交換会) ・シンポジウム 「学校・園動物飼育の教育的意義について」 ・情報交換会 ・動物ふれあい体験 ・バックヤードツアー	到津の森公園
1.9.9	譲渡校 2校 獣医師会 3	(モルモット譲渡式) ・モルモットの飼い方 ・モルモット譲渡	到津の森公園

・ 学会、講演会等

開催年月日	参加人数(名)	内 容	会 場
2.2.9	1	学校動物飼育支援対策検討委員会公開型拡大会議 (1)平成30年度地方獣医師会における学校動物飼育支援対策事業に関するアンケート調査結果 (2)学校動物飼育支援 取組みと対策(委員会からの提案) (3)意見交換「学校動物飼育支援活動と学校における One Health の実践」 (4)がっこう動物新聞について (5)その他	東京国際フォーラム(東京都)

・ 学校訪問 (訪問数 19 校)

開催日	実施校・園名	開催日	実施校・園名
31.4.17	霧ヶ丘幼稚園	1.8.21	小森江東小学校
1.5.9	附属小倉小学校	8.22	港が丘小学校
5.22	熊西小学校	9.27	貫小学校
6.11	牧山小学校	10.10	深町小学校
6.18	あやめが丘小学校	11.6	赤坂小学校
6.27	日明小学校	11.12	松ヶ江北小学校
7.22	藤木小学校	11.29	城野小学校
7.22	大里柳小学校	2.1.14	小石小学校
7.24	西門司小学校	2.2.4	曾根東小学校
7.25	桜丘小学校		

・ ふれあい授業 (訪問数 23 校)

開催日	実施校・園名	開催日	実施校・園名
31.4.25	霧ヶ丘幼稚園	1.9.20	小森江東小学校
4.26	霧ヶ丘幼稚園	9.24	桜丘小学校
5.17	附属小倉小学校	10.4	貫小学校
6.13	熊西小学校	10.17	深町小学校
6.26	牧山小学校	11.12	赤坂小学校
7.2	あやめが丘小学校	11.20	松ヶ江北小学校
7.4	日明小学校	12.3	城野小学校
8.27	藤木小学校	12.6	城野小学校
9.4	港が丘小学校	12.13	折尾西小学校
9.5	大里柳小学校	2.1.22	小石小学校
9.12	桜丘小学校	2.18	曾根東小学校
9.20	小森江東小学校		

・ 学校飼育動物診療相談依頼件数 35件

5) 適正な管理に関する事業

北九州市獣医師会は、動物の愛護、生命尊重、人と動物との共生の支点到立ち、平成12年度からメス猫の不妊手術費の一部助成を実施している。北九州市からもその成果が認められ平成16年度から補助金が交付されるようになり、メス犬も助成金の対象とした。また、平成20年度からは動物愛護センターのワンニャン譲渡会で引き取られたメス猫にも手術費用の助成を行っている。

- ・ 令和元年度捨て猫・捨て犬防止キャンペーン事業 応募者数及び当選者数

【メス猫】

区 分	総数		一般応募		手術済		愛護デー当日		ワンニャン 譲渡会	助成金 交 付
	応募	当選	応募	当選	応募	当選	応募	当選		
門 司	141	40	87	21	51	19	2	0	1	35
小倉北	179	36	155	28	17	7	5	1	2	29
小倉南	168	57	110	33	57	24	0	0	1	49
若 松	69	21	51	15	17	6	0	0	1	20
八幡東	80	30	58	16	17	11	5	3	0	27
八幡西	146	43	84	21	55	19	4	3	3	35
戸 畑	52	21	32	16	15	4	5	1	0	18
合 計	835	248	577	150	229	90	21	8	8	213

【メス犬】

区 分	総数		一般		手術済		愛護デー当日		助成金 交 付
	応募	当選	応募	当選	応募	当選	応募	当選	
門 司	41	13	14	5	27	8	0	0	11
小倉北	25	13	18	10	6	2	1	1	10
小倉南	55	12	30	9	25	3	0	0	11
若 松	17	8	9	5	7	2	1	1	7
八幡東	15	4	6	2	9	2	0	0	3
八幡西	39	11	13	8	26	3	0	0	10
戸 畑	5	1	3	1	2	0	0	0	1
合 計	197	62	93	40	102	20	2	2	53

【メス猫・メス犬】

総 数	1,032	310	670	190	331	110	23	10	266
-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	-----

6) 災害時の動物救済支援対策事業

災害時の動物救援事業に対して会員の動物病院において支援義援金募金箱の設置を行い256,787円の義援金が集まり九州災害時動物救援センターに寄付を行った。

九州地区獣医師会連合会では、近年頻発する大規模災害時において被災地域の地元獣医師会での対応にも限界があり、周辺獣医師会からの協力支援が必要であることから、九州VMATを養成し、救護体制の充実・強化を図ることとしている。本年度も九州VMATの合宿訓練が行われ、当会からも6名の隊員が参加した。また、新たに3名の会員が認定講習を受けた。

福岡県獣医師会主催による、動物病院防災セミナーが開催され、動物防災の必要性や、病院及び飼い主の準備について、3名がセミナーを受講した。

当会においては災害時対策に関する事業の計画及び推進を行うため、災害時対策委員会を設置し、会議を行った。

又、北九州市との災害時におけるペット救護対策に関する協定締結に向け、保健福祉局と会議を行っている。

7) 盲導犬利用者支援事業

平成2年度より公益財団法人九州盲導犬協会や盲導犬利用者からの要請により、市内で活躍している盲導犬や引退したリタイア犬に対し、混合ワクチンの無料接種並びに犬フィラリア症予防剤の無料交付を実施している。令和元年度も会員の協力により5頭の盲導犬と4頭のリタイア犬に対して診療特別措置を行った。

8) ワンニャン譲渡会への支援事業

飼い主不明の犬猫は、後々の野良犬、野良猫となり地域に多大な問題となることから北九州市動物愛護センターが毎月第2土曜日に行う「ワンニャン譲渡会」で譲渡される犬猫の飼い主に適正飼育の啓発を行うために、適正なペットフード及びパンフレット等の配布を通じて啓発を行っている。

9) 救急獣医療事業

動物生命の尊厳の追及と動物愛護の啓発向上を目的に救急獣医療体制の整備充実を公益目的達成の重要課題と位置づけ平成27年6月3日夜間救急動物病院を開院した。

また、夜間救急動物病院において北九州市と連携し所有者不明の負傷動物の治療、災害発生時におけるペットの保護収容、学校飼育動物に対する夜間の診療を実施している。令和元年度は所有者不明の負傷動物の治療を11件(猫11件、犬0件)行った。

公益2 獣医学術、獣医療の専門的知識・技術の普及並びに人材育成を図る事業

獣医師個々の診療技術や知識の向上を目的に事業を実施した。

1) 学会、講習会、研修会等の開催

・ 本会主催講習会

開催年月日	講習会場	演題及び講師	聴講者の内訳
1.10.6	北九州市 獣医師会館	「これだけは押さえない！救急の基本手技とポイント！」 講師 札幌夜間動物病院 院長 川瀬 広大 先生 一般社団法人日本獣医救急集中 治療学会 理事長 北海道大学獣医学部 非常勤講師	本会会員 25名 会員外 11名 計 36名

・ 九州地区獣医師会主催講習会

開催年月日	主催獣医師会	開催場所	講習内容
1.6.30	長崎県 獣医師会	長崎県 獣医師会館 (諫早市)	・呼吸器疾患を見て聞いて感じよう —アプローチ・画像診断・治療を識る— 末松どうぶつ病院 末松 正弘 先生
1.7.7	大分県 獣医師会	大分県 獣医師会館 (大分市)	・大分から始まる獣医歯科学の未来 おぎの歯科医院、動物整形外科病院 樋口 翔太 先生
1.7.20 ） 1.7.21	第26回九州地区 小動物獣医学会 卒後研修会	ホルトホール大分 (大分県)	・症例発表 ・教育講演
1.9.8	佐賀県 獣医師会	JAグリーン パレス (鳥栖市)	・眼科診療を一步進めるためのポイント教えます 鎌倉山動物病院 院長 日本動物病院高度医療センター眼科医長 福島 潮 先生
1.9.8	大分県 獣医師会	大分県 獣医師会館 (大分市)	・放射線治療の適応と症例報告 症例から学ぶリンパ腫の治療 腫瘍外科(basic) ～コツとピットフォール～ 砂輝動物病院 橋本 砂輝 先生
1.11.3	長崎県 獣医師会	長崎県 獣医師会館 (諫早市)	・犬のクッシング症候群の診断と管理、脳、脊椎MRIの 基本と使いどころ、犬と猫の脳炎の診断と治療 まつき動物病院 松木 直章 先生
1.11.11	沖縄県 獣医師会	八重山家畜 保健衛生所 (石垣市)	・肉牛の効率的繁殖管理技術 あすかアニマルヘルス株式会社 営業企画部学術マネジャー 関 誠 先生

1.11.23)	日本獣医師会	琉球産経 株式会社 (沖縄県)	第10回 認定VMAT講習会 ・災害時における動物管理に関わる支援システムの実装
1.11.24	(共催) 沖縄県 獣医師会		
1.11.24	宮崎県 獣医師会	JA・AZMホール (宮崎市)	・耐性菌を作らないための感染症診療と抗菌薬の 基礎知識 東京大学附属動物医療センター 茂木 朋貴 先生
1.11.27	宮崎県 獣医師会	JA・AZMホール (宮崎市)	・家畜を感染症から守るために“いま”何ができるか 「ヨーネ病の病態と診断法」 農研機構 動物衛生研究部門 永田 礼子 先生 「畜産分野の消毒の基本ーバイオセキュリティ強化方法」 東京農工大学 竹原 一明 先生
1.12.1.	佐賀県 獣医師会	JAグリーン パレス (鳥栖市)	・血管パッカーン！が引き起こす、ショックを考える (アナフィラキシーと敗血症の治療戦略) TRVA夜間救急動物医療センター 院長 中村 篤史 先生
1.12.14	沖縄県 獣医師会	ふそうビル (那覇市)	・小動物整形外科 動物整形外科病院 樋口 雅仁 先生
1.12.15	大分県 獣医師会	大分県 獣医師会館 (大分市)	・ミカ先生の病理学講座 基本と応用 ～最新のTelepathologyで一緒に診断～ 動物病理診断センター 米国獣医病理学専門医 (解剖病理・臨床病理) 田邊 美加 先生
2.2.9	熊本県 獣医師会	熊本県 獣医師会館 (熊本市)	・痒みの管理 ～治らない症例で治すためのヒント～ 犬と猫の皮膚科 アジア獣医皮膚科専門医 村山 信雄 先生 ・50分×3セットで学ぶ心臓病の理論と実際 日本獣医生命科学大学 教授 竹村 直行 先生
2.2.16.	熊本県 獣医師会	熊本県 畜産会館 (熊本市)	・腫瘍外科、軟部外科のコツとピットファール 三重動物医療センター なるかわ動物病院 総院長 生川 幹洋 先生
2.2.16	大分県 獣医師会	ホルトホール大分 (大分市)	・ステロイド薬の作用と副作用・循環器薬の特徴と 臨床エビデンス 麻生大学獣医学部生理学第二研究室 教授 折戸 謙介 先生

2) 獣医学術地区学会事業及び地区大会事業の共催

・ 第68回九州地区獣医師大会並びに令和元年度獣医学術九州地区学会に関する事項

第68回九州地区獣医師大会並びに獣医学術九州地区学会は、佐賀県獣医師会の担当で令和元年11月8日(金)佐賀市の「グランデはがくれ」で開催された。

本大会及び獣医学術九州地区学会には、当獣医師会からも小動物臨床会員5名、勤務会員1名、計6名が参加した。学会においては今年度の当会からの発表はなかった。大会では、原喜久治先生が、九州地区獣医師会連合会会長功労者表彰を受け、西間久高先生が、九州地区獣医師会連合会会長特別功労者表彰を受けた。又、九州各県から提案された下記の4議案が「大会決議」とされ「大会宣言」と共に満場一致で採択、大会は盛会のうちに終了した。

(表 彰 者)

・九州地区獣医師会連合会会長表彰

【功労者】

氏 名	所 属
原 喜 久 治	小動物臨床会員

【特別功労者】

氏 名	所 属
西 間 久 高	小動物臨床会員

(大会提出議案)

第1号議案 家畜伝染病に対する防疫対応及び越境性感染症のリスク管理の徹底

第2号議案 産業動物診療及び勤務獣医師の処遇改善と人材確保

第3号議案 九州VMAT並びに地域災害時動物救護体制の充実・強化

第4号議案 One Health理念に基づく人と動物の共通感染症対策の充実・強化

令和元年度 獣医学術九州地区学会長賞
九州地区獣医師会連合会長賞、奨励賞
フレッシュ・アワード、若手研究奨励賞 受賞演題

学会区分	会場	表彰区分	演題番号	演題及び発表者氏名
産業動物獣医学会	第一会場	地区学会長賞	5	鼻腔粘膜ワクチン(TSV®-2)が牛の肺胞マクロファージに与える影響 田中 千穂 (鹿児島県)
		地区学会長賞	7	フローサイトメリーによる牛呼吸器粘膜免疫解析技術の確立 石川 真悟 (鹿児島県)
		九獣連会長賞	14	内固定および外固定を併用して治療した踵骨骨折の黒毛和種子牛の1例 井上 賀之 (宮崎県)
		九獣連会長賞	17	代謝プロファイルテストと牛群検定成績を活用した酪農場指導の1成功例:潜在性の肝機能障害と乳質低下の同時摘発と改善 大川 洋明 (福岡県)
		奨励賞	15	子宮体皺襞回転法により子宮捻転整復が成功した2例 中村 修 (鹿児島県)
		奨励賞	19	黒毛和種哺乳子牛におけるビタミンCの投与効果 大石 祥子 (鹿児島県)
	第二会場	地区学会長賞	4	デアギュラウイルスの関与を疑う牛異常産の発生ならびに県内分離株の分子疫学的考察 酒井 芳子 (長崎県)
		地区学会長賞	10	細菌性乳房炎由来乳汁からのMycoplasma bovis DNA抽出法の検討 古賀 靖啓 (鹿児島県)
		九獣連会長賞	9	Mycoplasma bovisのマクロライド及びフルオロキノロン耐性獲得機構 磯村 美乃里 (大分県)
		九獣連会長賞	16	処理精巢を利用したPRRSウイルスの農場モニタリング法に関する検討 人見 徹 (大分県)
		奨励賞	5	デアギュラウイルスの関与を疑う異常産の発生とその浸潤 岡本 理 (佐賀県)
		奨励賞	15	臨床的正常豚における白血球数およびその分画の特性 北崎 宏平 (福岡県)

学会区分	会場	表彰区分	演題番号	演題及び発表者氏名
小動物獣医学会	第一会場	地区学会長賞	5	犬における大静脈孔ヘルニアの5例 高橋 雅弘 (福岡県)
		地区学会長賞	11	犬の喉頭麻痺および喉頭虚脱合併症例(Laryngeal Paralysis and Laryngeal Collapse:LPLC)に対して裂軟骨側方化術(Tie-Back)を実施した治療実績 末松 正弘 (大分県)
		九獣連会長賞	3	憎帽弁弁膜症により左心不全をきたした猫の1例 平川 篤 (福岡県)
		九獣連会長賞	24	飢餓状態の土佐犬に対して外科介入により良好な運動機能を獲得できた2治験例 樋口 雅仁 (大分県)
		フレッシュャー・アワード	21	環椎、軸椎の形態異常に伴四肢不全麻痺を呈した猫1例に対する外科的治験例 井上 賀之 (宮崎県)
		フレッシュャー・アワード	22	MRIを用いた犬の胸腰部椎間板ヘルニアにおける脊髄障害の予後判定 美登 加奈子 (宮崎県)
	第二会場	地区学会長賞	13	赤血球内にカボット環を認めた急性白血球の猫の1例 遠藤 水月 (鹿児島県)
		地区学会長賞	16	Bモード画像と超音波造影による犬及び猫の乳腺腫瘍の良・悪性判定に関する研究 古川 彰宏 (佐賀県)
		九獣連会長賞	23	嚥下障害を呈したイヌハハイダニPneumonyssoides caninum感染症の犬の1例 小嶋 宗明 (熊本県)
		九獣連会長賞	26	ループス腎炎様の糸球体疾患と診断した犬の1例 矢吹 映 (鹿児島県)
		フレッシュャー・アワード	15	外科および化学療法の併用により長期生存している頭蓋内組織球性肉腫の犬1例 杉山 慶樹 (福岡県)
		フレッシュャー・アワード	25	キサラン結石症の猫の1例 生石 泰久 (福岡県)

学会 区分	表彰区分	演題番号	演題及び発表者氏名
獣医公衆衛生学会	地区学会長賞	16	鶏卵生産環境のサルモネラからも鶏肉由来サルモネラに拡大していたESC耐性関連プラスミドはみつかるとの 重村 洋明 (福岡県)
	地区学会長賞	28	沖縄県における猫のレプトスピラ保菌状況調査 嘉屋武 向子 (沖縄県)
	九獣連会長賞	8	地方病性牛白血病の迅速診断の試み 神田 卓弥 (鹿児島県)
	九獣連会長賞	23	対米輸出と畜場におけるHACCP検証に際し、厳密にゼロトランス検証を運用した経緯と結果 中満 智史 (熊本県)
	若手研究奨励賞	4	家畜豚の腹腔から検出されたオンコセルカ科線虫 <i>Setaria bernardi</i> 井上 健 (佐賀県)
	若手研究奨励賞	7	白金耳を用いた採材およびDNA熱抽出法による牛白血病ウイルスの簡易PCR法について 三角 加奈子 (鹿児島県)

各県・市獣医師会の学会出席状況と発表演題数

区分 地方会	会員数	出席者数	各学会別発表演題数			
			産業動物	小動物	公衆衛生	合計
北九州市	61名	6名	0題	0題	0題	0題
福岡県	716	70	4	19	1	24
佐賀県	217	91	3	4	2	9
長崎県	395	29	4	2	5	11
熊本県	410	67	2	8	2	12
大分県	353	19	3	4	2	9
宮崎県	592	64	11	9	8	28
鹿児島県	1,029	71	12	11	8	31
沖縄県	354	14	2	3	2	7
合計	4,127	431	41	60	30	131

*平成31年3月31日現在の会員数(日獣資料による)

3) (公社)日本獣医師会が実施する獣医師生涯研修事業への協力

獣医師の専門知識、技術を修得するため日本獣医師会が開催する研修会、講習会への参加協力や本会主催の講習会、九州地区学会においても生涯研修事業の協力を行った。

Ⅱ 収益事業

1) 会館貸し館事業

会員等が学術を目的として、会館の利用を行った。又、会館利用者の利便性を高めるため、自動販売機を設置している。

Ⅲ その他事業(相互扶助等事業)

1) 損害保険、総合生命福祉共済事業

日本獣医師会が取り扱う保険について会員へ周知を図り、希望者への取り次ぎを行った。

2) 慶弔・見舞金

会員への慶弔を行った。

3) 畜産振興支援事業

・小倉牛枝肉共進会

北九州市は、平成元年から市内産黒毛和種牛のうち、肉質の良いものを「小倉牛」と命名しブランドの確立を図り、生産農家の育成指導と需要の拡大に努めてきた。その結果、今では「小倉牛」は高品質な牛肉として市民に広く定着している。

共進会では生産者の生産意欲及び生産技術の向上を目指して、優秀な成績を収めた生産者を表彰している。当獣医師会では、北九州市における畜産振興を奨励するため、優秀者への表彰など毎年協力を行っていたが、本年度は市内生産農家の肥育牛飼養頭数の減少に伴い開催が難しい状況にあるため、中止になった。